



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社GENOVA 上場取引所 東
コード番号 9341 URL <https://genova.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平瀬 智樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 上田 明尚 TEL 03 (5766) 1820
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及び個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,980	36.5	969	39.3	971	38.8	626	42.9
2023年3月期第2四半期	2,916	—	695	—	699	—	438	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 629百万円 (43.3%) 2023年3月期第2四半期 439百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	35.37	35.08
2023年3月期第2四半期	27.08	—

(注1) 2023年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(注2) 当社は、2022年3月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,279	4,814	74.6
2023年3月期	5,414	4,046	74.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,685百万円 2023年3月期 4,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,482	30.2	2,207	27.3	2,206	28.7	1,505	19.4	85.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	17,760,100株	2023年3月期	17,598,100株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	38株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	17,698,558株	2023年3月期2Q	16,180,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2023年11月10日（金）に機関投資家及び個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載及びTDnetに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、行動制限の緩和やインバウンドを含む国内外の人流もコロナ前水準の7割にまで回復しているといわれ、経済活動も活気を取り戻しつつあります。

一方で、ウクライナ情勢を含む地政学リスクの長期化、原材料やエネルギー価格の高騰、世界的な金融引き締めを含む金融資本市場の変動等もあり、我が国の景気の先行きへの影響には引き続き注意が必要な状況にあります。

このような事業環境のもと、当第2四半期連結累計期間においては、第1四半期からのモメンタムを維持する形でメディカルプラットフォーム事業の主力事業である「Medical DOC」については顧客事業所数が引き続き順調に推移いたしました。スマートクリニック事業は「NOMOCaシリーズ」「CLINIC BOT」に加え、「スケッチピストン-Playing Music/こびとが住まう黒板」等の商材についても導入件数を伸ばし成長を遂げております。新商材としまして、従前プレスリリースを出している「NOMOCa AI chat」が7月より販売開始となり、反響を得ております。こちらのサービスはお客様のクリニックのFAQデータやWEBサイト情報をもとに、ChatGPTを搭載することで、複雑な質問に口語体で自然にAI chatbotが受け答えします。当新商材は弊社のスマートクリニック事業が掲げるビジョンの「21世紀型のクリニックを創る」に沿っており、今後も拡大することを期待しております。

弊社の成長ドライバーである人員においては、4月に入社した新卒約50名の教育・育成に積極投資を継続実施しつつ、同時に即戦力となりえる人員の採用を継続的に行い、前年と同様に人的資本に対して強化傾向にあります。

このような人員が当社グループの主力事業のオーガニック成長に貢献するよう補強を続け、また、非連続的な成長の創出にも積極的に取り組むため、新事業・新サービス・新商材に向けた事業提携も引き続き検討を進めてまいりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、以下のとおりです。

①メディカルプラットフォーム事業

メディカルプラットフォーム事業では、医療メディアであるMedical DOCを中心に、医療機関と患者様への適切な医療情報のマッチングを実現しております。当メディアでは、月間PV数は継続して伸長しており、9月では過去最高の1,300万超の月間PV数を獲得しました。

当第2四半期連結累計期間では、Medical DOCの中でも各治療や診療科目に特化した特化型サイトを複数開設しました。当特化型サイトでは、各治療において基準を満たし、豊富な治療経験を持つ信頼のできるプロフェッショナルドクターの医療機関を紹介するサービスとして提供しております。超高齢化社会を迎えた現代の日本において健康寿命増進という社会課題を解決すべく、利用者の皆様により一層適切な情報へアクセスいただくことを目的としております。

利用者に求められるコンテンツの掲載ができていることから、月間PV数の増加を背景に顧客事業所数が伸長し、当第2四半期連結累計期間の契約件数は1,965件となりました。

この結果、セグメント売上高は2,723,449千円（前年同四半期比50.6%増）、セグメント利益は1,470,653千円（前年同四半期比49.2%増）となりました。

②スマートクリニック事業

スマートクリニック事業では、主に、クリニックの業務効率化を進め、将来的に「受付0」、「待ち時間0」、「現金0」の運営をできるよう、自動受付精算機とセルフ精算レジを展開しております。新たな取り組みとしてDXの強化の一環で「NOMOCa AI chat」のサービス提供を開始いたしました。当サービスはクリニックの受付業務の1つである「電話業務」にかかる時間やコストを削減し、医療DX化により、ヒトからAIへタスクシフトすることでスタッフの余裕ある時間を生み出し、更には患者様の利便性を向上することを目的としている取り組みになります。サービスの提供を開始し、医療機関からしっかりとニーズが確認でき、良好な出だしを示しました。

このような新たな商材も含め、医療機関の事務業務量の課題を解決しつつ、「多くの待ち時間と短い診察時間」という不満を医療DXの推進を通じて解決することを引き続き目指します。

営業人員の強化や人員配置改善により、スマート簡易自動精算機/再来受付機及び、CLINIC BOTを中心に顧客への導入は堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の契約件数は470件となりました。

一方で第1四半期連結会計期間にも確認された、仕入原価の高騰は、利益率を圧迫しており、スマートクリニック事業においては、営業利益率に負担がかかっている状態です。ただし、その打開策として、「NOMOCa AI chat」のような付加価値商材等で発注件数及び利益率の改善に努めております。

この結果、セグメント売上高は982,809千円（前年同四半期比16.9%増）、セグメント利益は152,680千円（前年同四半期比17.1%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,980,686千円（前年同四半期比36.5%増）となり、営業利益は969,747千円（前年同四半期比39.3%増）、経常利益は971,028千円（前年同四半期比38.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は626,011千円（前年同四半期比42.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ864,962千円増加し、6,279,885千円となりました。これは主に現金及び預金が558,446千円増加したこと、売掛金が227,161千円増加したこと、有形固定資産が6,425千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ96,853千円増加し、1,464,903千円となりました。これは主に未払法人税等が62,229千円増加したこと、長期借入金が38,896千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ768,108千円増加し、4,814,982千円となりました。これは主に新株予約権の行使により資本金が10,125千円、資本剰余金が10,125千円増加したことや、新株予約権が118,570千円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益626,011千円を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ558,446千円増加し、4,418,953千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、577,057千円（前年同期は433,576千円の獲得）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益971,028千円、株式報酬費用115,701千円であり、主な減少要因は、売上債権の増加額227,159千円、法人税等の支払額276,915千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、125,845千円（前年同期は71,467千円の使用）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出40,390千円、長期預け金の預入による支出83,427千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、106,671千円（前年同期は109,015千円の使用）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入100,000千円、株式の発行による収入20,250千円であり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出14,953千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,860,506	4,418,953
売掛金	995,318	1,222,479
その他	142,682	136,292
貸倒引当金	△23,646	△32,114
流動資産合計	4,974,860	5,745,610
固定資産		
有形固定資産	152,847	159,272
無形固定資産	4,916	3,971
投資その他の資産		
繰延税金資産	68,489	67,768
その他	213,810	303,263
投資その他の資産合計	282,299	371,031
固定資産合計	440,063	534,275
資産合計	5,414,923	6,279,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,551	124,037
1年内返済予定の長期借入金	19,128	65,279
契約負債	249,119	248,365
未払法人税等	307,129	369,359
賞与引当金	45,000	20,000
その他	554,777	569,510
流動負債合計	1,334,706	1,396,552
固定負債		
長期借入金	6,941	45,837
その他	26,401	22,514
固定負債合計	33,342	68,351
負債合計	1,368,049	1,464,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,991	771,116
資本剰余金	660,991	671,116
利益剰余金	2,614,710	3,240,721
自己株式	-	△81
株主資本合計	4,036,693	4,682,873
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,687	2,203
その他の包括利益累計額合計	1,687	2,203
新株予約権	-	118,570
非支配株主持分	8,492	11,336
純資産合計	4,046,873	4,814,982
負債純資産合計	5,414,923	6,279,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,916,323	3,980,686
売上原価	769,325	973,401
売上総利益	2,146,998	3,007,284
販売費及び一般管理費	1,451,034	2,037,537
営業利益	695,964	969,747
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	113	49
解約金収入	2,412	120
受取手数料	1,869	1,220
その他	426	82
営業外収益合計	4,821	1,472
営業外費用		
支払利息	1,265	189
その他	2	1
営業外費用合計	1,268	190
経常利益	699,518	971,028
特別利益		
固定資産売却益	2,394	-
子会社清算益	3,174	-
特別利益合計	5,568	-
特別損失		
子会社清算損	2,690	-
特別損失合計	2,690	-
税金等調整前四半期純利益	702,396	971,028
法人税、住民税及び事業税	246,566	341,453
法人税等調整額	16,914	720
法人税等合計	263,480	342,173
四半期純利益	438,915	628,855
非支配株主に帰属する四半期純利益	692	2,844
親会社株主に帰属する四半期純利益	438,222	626,011

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	438,915	628,855
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	310	515
その他の包括利益合計	310	515
四半期包括利益	439,225	629,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438,533	626,526
非支配株主に係る四半期包括利益	692	2,844

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	702,396	971,028
減価償却費	22,061	33,658
株式報酬費用	-	115,701
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,231	8,468
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,500	△25,000
固定資産売却益	△2,394	-
子会社清算損益 (△は益)	△484	-
受取利息及び受取配当金	△113	△49
支払利息	1,265	189
売上債権の増減額 (△は増加)	42,250	△227,159
棚卸資産の増減額 (△は増加)	992	△6,016
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,860	△35,514
契約負債の増減額 (△は減少)	3,536	△754
その他	△9,225	19,552
小計	731,692	854,104
利息及び配当金の受取額	113	49
利息の支払額	△1,203	△181
法人税等の支払額	△297,026	△276,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	433,576	577,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	15,001	-
有形固定資産の取得による支出	△47,049	△40,390
無形固定資産の取得による支出	△909	-
子会社の清算による収入	4,469	-
敷金及び保証金の差入による支出	△45,887	△598
敷金及び保証金の回収による収入	4,337	-
長期預け金の預入による支出	-	△83,427
その他	△1,430	△1,430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,467	△125,845
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,196	-
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△55,894	△14,953
株式の発行による収入	-	20,250
新株予約権の発行による収入	-	2,868
自己株式の取得による支出	-	△81
リース債務の返済による支出	△2,925	△1,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,015	106,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	673	563
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253,766	558,446
現金及び現金同等物の期首残高	1,639,503	3,860,506
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,893,269	4,418,953

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2, 3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	メディカル プラットフォーム 事業	スマートク リニック事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,808,470	840,677	2,649,147	267,176	2,916,323	—	2,916,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,808,470	840,677	2,649,147	267,176	2,916,323	—	2,916,323
セグメント利益	985,390	184,274	1,169,665	83,157	1,252,822	△556,858	695,964

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△556,858千円は報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2, 3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	メディカル プラットフォーム 事業	スマートク リニック事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,723,449	982,809	3,706,259	274,426	3,980,686	—	3,980,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,723,449	982,809	3,706,259	274,426	3,980,686	—	3,980,686
セグメント利益	1,470,653	152,680	1,623,333	73,342	1,696,675	△726,928	969,747

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△726,928千円は報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	メディカルプラットフォーム事業	スマートクリニック事業	計		
一時点で移転される財又はサービス	1,761,192	690,100	2,451,293	105,564	2,556,857
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	47,277	150,576	197,854	161,611	359,465
顧客との契約から生じる収益	1,808,470	840,677	2,649,147	267,176	2,916,323
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,808,470	840,677	2,649,147	267,176	2,916,323

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	メディカルプラットフォーム事業	スマートクリニック事業	計		
一時点で移転される財又はサービス	2,672,602	761,438	3,434,040	119,663	3,553,704
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	50,847	221,371	272,218	154,763	426,982
顧客との契約から生じる収益	2,723,449	982,809	3,706,259	274,426	3,980,686
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,723,449	982,809	3,706,259	274,426	3,980,686

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。